

令和5年12月20日

福島大学と福島国際研究教育機構との委託研究事業 「土壌低分子有機物の植物栄養学的影響の解明」

このたび福島大学が申請した事業が、福島国際研究教育機構（F-REI）公募事業に採択され、12月13日付で委託契約を締結しました。

今回契約となった事業は、“令和5年度「福島国際研究教育機構における農林水産研究の推進」委託事業 テーマ（8）福島浜通り地域等の農林水産業復興に資する研究事業（提案公募型募集）”で、「土壌低分子有機物の植物栄養学的影響の解明」と題し、事業に取り組みます。

事業名：土壌低分子有機物の植物栄養学的影響の解明

研究分野：第二分野（農林水産業）

実施体制：土壌低分子有機物の植物栄養学的影響の解明コンソーシアム

（代表機関：福島大学 研究代表者：食農学類 教授 二瓶直登

参画機関：理化学研究所、京都大学、東京大学、北海道大学、筑波大学）

事業内容：有機物の分解産物である低分子有機物が植物栄養における炭素源、窒素源となるという作業仮説を実証し、低分子有機物吸収メカニズムや根圏環境における植物-微生物間の物質輸送を解明し、その制御機構を明らかにする。さらに、植物が低分子有機物を有効利用する施肥条件を解明し、土壌肥沃度の新たな指標として安定生産に寄与する低分子有機物を導入することで、やませなど不安定な天候が懸念される浜通り地域に広がる除染圃場での効果的な農地再生を実現することを目的とする。

事業予定期間：令和5年度～令和11年度

（ただし、実施期間中の各種評価等により変更があり得る）